



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2018年12月27日



サテライトゼミ「新任管理者研修」



グループワークで異業種交流

このたび組合では、組合ホームページ（以降HP）を6年ぶりに全面リニューアルした。組合では1996年よりHPを開設し、今回で6回目のリニューアルを迎える。HPでは組合及び組合員に関する情報を積極的に発信し、新規組合員の加入促進に非常に高い効果を出しており、問屋町ブランド確立にも一役買っている。

また組合HPでは、Twitter（ツイッター）及びFacebook（フェイスブック）を利用した速報システムも整備。合同清掃や街頭指導の実施の可否、イベント情報などについて、タイムリーな情報発信をしている。

今回のリニューアルの目玉はレスポンシブデザインの導入。近年、スマートフォンで

11月14日（水）から16日（金）までの3日間、中小企業大学校仙台校のサテライトゼミ「新任管理者研修」が問屋町会館2階大会議室で開催された。同研修は、仙台校と当組合の運営する問屋町ビジネススクール、(公財)21あおもり産業総合支援センターの3者共催で開かれた。

サテライトゼミは、中小企業者が質の高い研修をより容易に受講できるように今年度

からスタート。全国に9校ある中小企業大学校が、大学や自治体、中小企業支援機関等と連携して、地域のより身近な場所で開催が受講できる取り組み。自社課題の解決につながる具体的な中小企業の事例等を用いた座学や自社データを使って行う演習等を交え、現場に即した実践的な研修を提供する。

今回開催された「新任管理者研修」は仙台校で開催される研修の中でも1、2を争う人気講座。青森市内、県内はもちろん、県外からも多くの申し込みがあり、34名が受講した。

研修前半では、管理者に期待される職務と役割、部下のやる気を引き出すコミュニケーションスキルなどを学び、後半は、チームを活性化させる行動計画を作成。行動計画は、自社に戻り職場ですぐに実践できるものが完成した。

また、研修内で受講生から寄せられた現状の課題に対し、講師からの解決策アドバイスがまとめられた資料が配付されるなど、受講者にとっては大変有意義な研修となった。

同研修は好評につき、来年度も開催される予定である。

新任管理者向けの人気研修を問屋町で開催 中小企業大学校仙台校サテライトゼミ

スマートフォン閲覧にも対応 組合ホームページリニューアル



レスポンシブデザインを導入した新HP

のWebサイト閲覧が急激に増えており、パソコン、スマートフォン、タブレットなどの異なる画面サイズに対応してWebサイト表示を最適化し見やすくする同機能が必須となっている。レスポンシブデザインの導入により、閲覧しやすく、かつ、操作しやすいHPとなり、更なるアクセス数増加が期待される。

組合HPアドレスは、<http://www.tonyamachi.com>

**今年度の問屋町内除排雪
作業の委託業者と承認**
第8回理事会

11月20日(月)に問屋町除排雪作業の委託業者などを審議する第8回理事会が開かれ、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町緑のボランティア隊の活動についてなど報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一：環境対策委員会からの意見について
案件二：組合員跡地買取資金の借換について
案件三：第51回通常総会の日程等について
案件四：2018年度第9回

忘年会で1年の締めを楽しむ

青森問屋町経営同友会の忘年会が11月30日(金)にホテル青森で開催され、同会会員ら32名が参加した。

忘年会では、GLOBAL TABLE(同)代表の山内リチャードソン澄子氏を講師に招き「青森のインバウンドなぜと誰の具体的な話」と題した特別講演会を実施。その後行われた懇親会では、同会が1月から取り組むダイエツトグランプリ2018のファイナル測定が行われ、見事3名が目標体重を達成した。残念ながら達成できなかった参加者は、罰ゲームとして苦いお茶を飲んで苦悶の表情を浮

理事会の日程等については理事会終了後には青森問屋町配送(株)の第4回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

源泉所得税や消費税増税後の経過措置について学ぶ
第2回税務研修会

11月28日(水)に問屋町会館で第2回税務研修会が開催され、組合員12名が参加した。講師に青森税務署の阜澤審理専門官を招き、源泉所得税や消費税増税後の経過措置について学んだ。

主な研修内容は次のとおり。
【給与所得の源泉所得税について】
配偶者控除・配偶者特別控

除の2018年分改正は次のとおり。
①配偶者控除は、納税者本人の合計所得金額が1,000万円(給与所得のみの場合、給与年収1,220万円)を超えると適用されなくなった。また、控除額も一律ではなくなり、本人の合計所得金額により控除額が38万円、26万円、13万円と異なる。
②配偶者特別控除を受けられる配偶者の収入基準が、141万円(合計所得金額76万円)未満から201・6万円(以下)に引き上げられた。
③配偶者の収入だけでなく、納税者本人の収入も合わせたところで配偶者控除または配



講演する講師の山内氏



ジャグリングショーを鑑賞

今回は特別企画として、青森を中心に活躍する若手大道芸人アット氏によるジャグリングショーを開催。同氏の華麗なパフォーマンスが参加者を大いに楽しませた。近年、両会共に会員間の交流が深まっており、組合活動の活性化につながっている。

問屋町内の交通事故撲滅を目指して交通診断を実施
青森交通安全協会問屋町支部では、11月8日(木)に問屋町及び周辺道路の交通事故防止対策を協議する問屋町交通診断を実施した。
診断には、問屋町支部会員32名のほか、関係機関である青森警察署、国、県、市の各担当官も参加。問屋町内で交通事故の発生が予想される箇所をバスで移動しながら視察。その後、問屋町会館会議室に場所を移し、意見交換を行った。
近年の交通診断での協議により、産業会館前信号機の感



事故多発箇所の中央IC前交差点を視察

偶者特別控除の額が決まることになった。
【消費税率等に関する経過措置について】
2019年10月1日の消費増税後に行われる資産の譲渡等に関し、経過措置(旧税率8%)が適用される対象は次のとおり。
①旅客運賃等↓施行日前日までに領収し、以後に行う旅客運賃や遊園地等の入場料等。
②電気料金等↓継続供給している電気、ガス、水道、電話、灯油等で、施行日(2019年10月31日)までに料金の支払を受ける権利が確定するもの。
③請負工事等↓2019年4月1日の前日までに請負契約

した工事で、施行日以降に当該課税資産を譲渡等するもの。
④資産の貸付け↓2019年4月1日の前日までに契約を締結した、施行日前から以後引き続き行う資産の貸付け。
⑤指定役務の提供↓2019年4月1日の前日までに契約を締結した、施行日以後に行われる冠婚葬祭のための施設やその他便益の提供に係る役務の提供。
その他、⑥予約販売に係る書籍等⑦特定新聞⑧通信販売⑨有料老人ホーム⑩家電リサイクル法に規定する再商品化等にも経過措置あり。ただし、対象となるにはそれぞれ基準があるので確認が必要である。

 宇部三菱セメント(株)特約店

株式会社 青森カイハツセメント

本社 青森市第二問屋町三丁目6番12号
電話(017)739-2436(代)

八戸支店 むつ営業所 五所川原営業所

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社

 **昭産商事株式会社 青森支店**

青森市問屋町2丁目15-9
電話(017)738-4551

業務報告

…主要事項…

- 11月
 - 2日▽大星神社総代会・敬神会総会
 - ▽第42回問屋町ボウリング大会
 - 4日▽第4回緑のボランティア隊
 - 6日▽県中小企業診断協会経営講習会・懇親会
 - ▽インフルエンザ集団予防接種③
 - ▽国内経済視察会反省会
 - 8日▽安協問屋町支部問屋町交通診断
- 14日▽県中小企業団体事務局代表者懇話会視察研修(15日)
- ▽金融審査会
- ▽中小企業大学校仙台校運営会議
- 16日▽県運営診断
- ▽商団連東北ブロック会議
- 18日▽大星神社新嘗祭
- 19日▽第6回フラワーアレンジメント教室
- 20日▽第2回環境対策委員会
- ▽問屋町納税貯蓄組合第48回定例会
- 21日▽県経営者協会理事会常任幹事会
- ▽問屋町支店長・所長連絡会第26回親睦交流会
- 26日▽第8回理事会
- ▽青森問屋町配送(株)第4回取締役会
- ▽北日本流通ヴァン(株)第2回取締役会
- ▽県流通団地連絡協議会通常総会
- 28日▽第2回税務研修会
- 29日▽市産業振興財団先進地視察(30日)
- 30日▽問屋町経営同友会第27回会員交流会
- 7日▽商業簿記3級取得講座⑩
- 8日▽ビジネススマナー実践研修(来客対応編)
- …問屋町ビジネススクール…
- 13日▽総務力向上研修(届出編)
- 14日▽中小企業大学校仙台校新任管理者研修①
- ▽スキルアップセミナー(営業トーク編)
- ▽商業簿記3級取得講座⑩
- 15日▽中小企業大学校仙台校新任管理者研修②
- 16日▽中小企業大学校仙台校新任管理者研修③
- 20日▽ポジティブな職場づくりチームで使おう! Word, Excel
- 22日▽流通コーデイナー1
- 27日▽流通コーデイナー1養成講座・応用編①
- 29日▽流通コーデイナー1養成講座・応用編②

経済雑感

第九十一回

一般財団法人 青森地域社会研究所 常務理事 竹内 紀人

前号に引き続き、青森地域研究所の竹内常務による経済雑感をお送りする。新卒を中心とした若手人材の県外流出が止まらない。地元企業への反応の薄さや、内定後の辞退など、地元企業の人材確保に向けた悩みは尽きない。

例えば東京の企業が若者を惹きつける力は何なのだろうか。企業の「大きさ」や「知名度」、給料を始めとする「勤務条件」、「都会暮らしへの憧憬」など、さまざまな要素があるとみられるが、どれかひとつの理由で単純に決まるものではない。

また、学生時代を青森で過ごした若者は、当地の生活の豊かさや素晴らしさも知っている。やみくもに「憧れ」だけで東京を目指すわけでもないだろう。

ただ、ビジネスマンとして生きる覚悟を持った若者が就職先に求める要素として、「キャリア形成に向けた有益な経験」は昔も今も重要である。筆者の年代と今で明らかに違うのは、その前提条件が「一生勤める会社」ではなくなったことだ。不確実性の中、キャリアを複線的、重層的に考えなくてはならない時代に、「今、後々に繋がる何を得られるか」が彼らの期待である。



(一財)青森地域社会研究所 常務理事 竹内 紀人 氏

仮にそうだとしても、東京にいれば役に立つキャリアを手に入れやすいと学生が考えるなら、それは幻想だ。一人ひとりの顔が見えやすい青森の企業で、地域創生を標榜しながら活躍することで得られるキャリアは確実に存在する。しかし、それを私たちが学生たちに上手に伝えることができていくだろうか?

プロダクツの質的向上を目指し、未来への適切な投資などを含め、真剣に取り組んでいる状況があるならば、学生に「当社で働く理由」を意識させることはさほど難しくないとと思う。新たな需要を外から獲得する、または内なる潜在需要を掘り起こす地道な取り組みを続け、地域のプロダクツ全般を高度化・効率化することが、人口減少時代の地域生活の利便性を支える要となり得る。そして、その変革力をしっかりとアピールすることが、実はその取り組みを続けていくために必要な高度人材を確保するための、最も有効な対処法となるのではなからうか。

(六元)

入 学 生 募 集 !

一地域社会の高度情報化を担う即戦力の人材を育成します一

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311 URL : http://www.acc.ac.jp

4K8K 衛星放送

マスプロは4K・8K衛星放送受信設備のパイオニアとして応援します。



オリエント商会株式会社

青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163

ご旅行や出張にうれしい宿泊パックのお申込みは

共和トラベル株式会社

青森市東造道二丁目3番14号 TEL 017(736)2266 FAX 017(736)5522

青森県知事登録第3-83号 総合旅行業務取扱管理者 成田浩二

総合断熱資材・空調部材

Q (株)オー・ケー・アイ

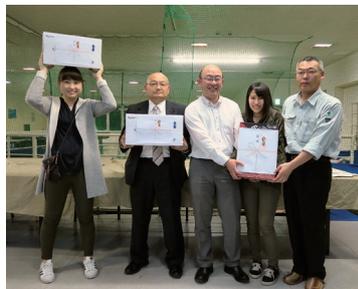
〒030-0131

青森市問屋町二丁目20-7 TEL (017) 764-1105 FAX (017) 728-3371

吉田産業チームが3連覇達成
問屋町ボウリング大会

組合で最も歴史ある労務対策事業の問屋町ボウリング大会が、11月2日(金)にアオモリボウルで開催。42回目となる今回は28チーム86名が参加した。

大会は1チーム3人の団体戦と個人戦で争われ、3ゲームのトータルスコアで順位が決定。熱戦の結果、団体戦は吉田産業チームが3連覇を達成。個人戦は男性の部が青森総合警備保障(株)の塩谷泰洋氏、女性の部は丸大堀内(株)の長尾円氏が優勝した。



ボウリング大会優勝者

も達成可能な各種特別賞を用意。事前に自分のトータルスコアを予想し、ピタリ当たった参加者に贈られる「ベストナルシスト賞」や、トータルスコアが222や333で達成の「ゾロ目賞」、チーム全員が同フレームでストライクをとると達成となる「チームみ

んなでストライク賞」など。また、今年には「問屋町センター賞」も新たに設けられ、男女の各個人戦でちょうど真ん中の順位になった参加者が受賞。表彰式は賞品を手にした参加者の笑顔で溢れていた。

いい夫婦の日に花の贈り物
フラワーアレンジメント教室

今年で4年目となるフラワーアレンジメント教室が、11月19日(月)に問屋町会館で開催された。花の普及を目的としている青森県はのくづくり推進協議会の協力のもと、男性限定で行われ、組合員従業員ら21名が参加した。同教室は、11月22日のいい



フラワーアレンジメント教室

夫婦の日にパートナーへ花を贈ることを目的に開催されており、参加者は日頃の感謝を込めながら思い思いの作品を作った。12月には女性も参加可能なフラワーアレンジメント教室も開催され、問屋町の人気イベントとなっている。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の10月に(株)恒和薬品と(株)小田島が合併して誕生した、東北アルフレッサ(株)青森支店の佐藤支店長にお話を伺った。

同社は医薬品卸大手のアルフレッサホールディングス(株)の子会社である(株)恒和薬品と(株)小田島を事業統合し、地域に密着した営業基盤の更なる強化を図るべく新たにスタート。医療用医薬品や医療機器、医療用検査薬など医薬品の総合商社として東北6県に営業拠点を展開している。

「当社では2社が合併したことで福島県郡山市と岩手県花巻市に東北の卸では唯一、物流セ



東北アルフレッサ(株)支店長 佐藤 賢悟氏

ンターを2カ所設置しています。また今後は郡山市の物流センターをリニューアルし、そこにはヘリポートも作る予定となっています。物流センターは商品供給の拠点であり、東日本大震災などの災害時や東北の厳しい冬の環境においても、この2カ所の

は厳しい状況ですが、新体制となったメリットを生かし、より一層の安定・安心・安全な医薬品供給を心がけます。更にカスタマーサポート機能も強化し、幅広いニーズにお応えしていけるよう取り組んでまいります」と語った。

青森支店での目標等に話が及ぶと「この業界では医師や薬剤師などがお客様となり、より高

業界の現状について尋ねると「国の医療費削減政策の影響もあり、医療用医薬品も薬価という公定価格の引き下げなどで市場環境

い知識と営業力が求められます。現在当支店の従業員の平均年齢は33歳と非常に若く、数年後より頼もしい従業員に成長していきたいです。やりがいがありますよ」と力強い。

福島出身の同氏に青森の印象やプライベートについて聞くと「青森県の雪の多さには驚きました。それと津軽弁では『まいね(駄目)』、福島では『まあいいね』といった反対の意味を持つ言葉にも苦労します。青森市に来る前には弘前市におり、その時は家族と一緒に住んでいたのですが、今では単身赴任となつてしまったので寂しいですね。2月2日帰省時に娘に会えるのが楽しみです。家族サービスが趣味みたいなものですね。私は、辛いことがあると後で必ず良いことがある」と常にプラス思考です。いろいろな人がいます。日々を送っていますよ」と笑顔で話す。(52歳)

編集後記

中小企業大学校・仙台校と問屋町ビジネススクール＆「21あおもり産業総合支援センター」との共催でサテライトゼミが、組合会館二階の新大会議室で初開催され、組合内外の企業から多くの参加者をいただきました▼サテライトゼミは来年度も開催予定ですが、問屋町ビジネススクールはこれを皮切りに他の機関ともより積極的にコラボしていきたいと思っています▼転話題。今回は「企業実務」12月号の「業務を非効率化するボトルネックを洗い出せ」という特集記事についてご紹介いたします。記者は日本能率協会の田中良憲氏▼記事によると業務の効率を阻害するボトルネックとなっているムダは、一種ではなく、次の三つのロスだそうです▼①方法ロス(Method Ross) ②バラツキロス(Performance Ross) ③人資源活用ロス(Utilization Ross)▼①方法ロスとは「仕事の手順、やり方のまずさによる非効率さ」のことです。この方法ロス削減のためには「業務フローの作成」や「仕事の見える化」といった取り組みが有効だそうです▼②バラツキロスとは「個人の能力ややる気による出来高の差異」のことです。人の経験・知見を頼りにして仕事をしている職場では、このロスが大きいです▼③人資源活用ロスは「人の時間を上手く活用できていないことによる出来高・質の機会損失」のことです。人資源とは人が投入される時間のこと、これを一般的に「人時(Man Hour)」といいます。以上の三つのロスが、自社でどうなっているか状況をチェックしてみる必要があります。(藤本)

印刷もお願いできないかな? あの手だけ折り返したい! イベントも一緒にお願いしたい! デザインから頼む事は出来ますか? 広告でお困りなら 青森読売ISへ!! 〒030-0131 青森市問屋町一丁目5番12号 TEL: 017(718)5160 FAX: 017(764)3840

2020年 FURISODE FAIR 2019 2.1~ 振袖レンタルフルセット ¥70,000~(税別) きりのセンター 青森店 青森市第二問屋町 4-1-3 017-729-2222